KIKAIYA
TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

油圧プレス 20 トン
取扱説明書
【品番】UPA-20

この度は「油圧プレス 20 トン（UPA-20）」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

＊本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

＊本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。

コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415－3

(ＭＡＩＬ) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
  付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があり、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意

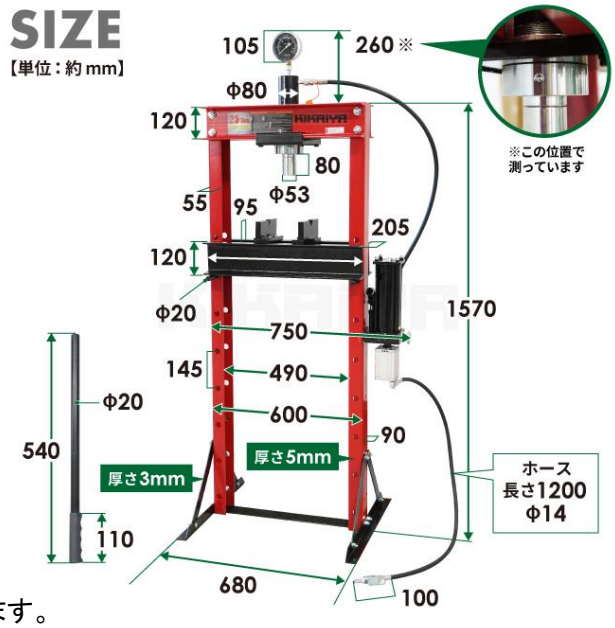
■製品使用上のご注意

警告

- 使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますのではさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装（作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等）でご使用ください。
- しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください。
- 常に清潔にし、乾燥した明るい場所でご使用ください。
- ご使用時には必ず異常（曲げ・漏れ・破損・ボルトの緩み）がないかチェックししてください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- ご使用時はプレス物が中心に固定されているか確認してください。
- プレスの正面には立たず、周りに人がいない状態でご使用ください。
- 疲労を感じたり、飲酒や薬物を服用している時は使用しないでください。
- プレスの改造は一切行わないでください。
- 定格容量を超えないでください。
- ロッドは出し過ぎないでください（警告線がある場合は超えないでください）。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。

■製品仕様

重量	90kg
能力	20 トン
台座高さ調整	8 段階（145mm 刻み）
シリンダーストローク	145mm
シリンダー先端軸径	約 φ40mm
シリンダー先端金具直径	φ53mm
使用エアー圧力	0.78Mp～1.27Mp
エアー接続口	R1/4 オネジ
付属品	ハンドル、 プレスプレート 2 個 （＊写真・黒いプレート）
梱包サイズ	1640×275×215mm（木箱）



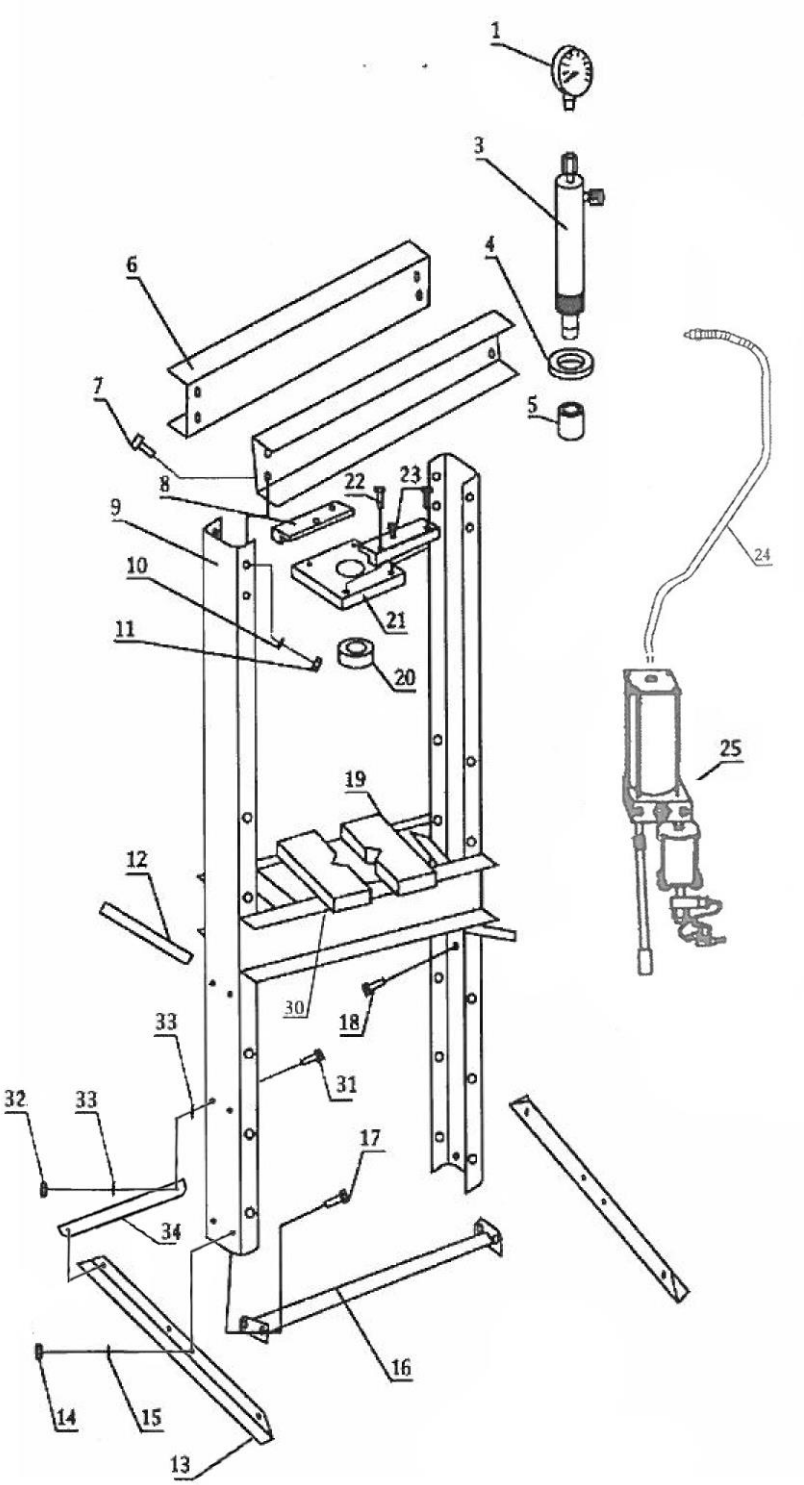
※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

■製品説明

- シャフトの曲がり修正、芯出し、プッシュ、ベアリングの脱着等にご使用ください。
- エアー・手動兼用の油圧プレスです。
- エアー式は 20 トンまで楽に圧力が上昇でき、手動で微妙な圧力調整も可能！
  使い分けできて作業効率は抜群です。
- 圧力メーター付きで、圧力を確認しながら作業出来ます。
- シリンダーはリターンスプリング内蔵式のため、レリーズバルブを緩めると自動で戻ります。
- シリンダー先端部の金具は取り外し可能です。
- 台座の高さを 145mm 間隔で 8 段階に調節できます。
- プレスプレートは取り外しが可能なので、位置を変えたり取り外す事も可能です。
- お客様での組み立てが必要な商品です。

■パーツリスト・パーツ名称

番号	名称	個数
1	圧力計	1
3	ラム	1
4	丸ナット	1
5	カップリング	1
6	上部クロスビーム	2
7	ボルト　M14×30	8
8	プレスブロック	2
9	ポスト	2
10	ワッシャー　M14	8
11	ナット　M14	8
12	ロッド	2
13	ベース部	2
14	ナット　M12	4
15	ワッシャー　M12	4
16	クロスメンバー	1
17	ボルト　M12×30	4
18	ボルト　M12×20	2
19	ブロック	2
20	下部丸ナット	1
21	下部プレート	1
22	ボルト	4
23	ボルト	2
24	ホース	1
25	ポンプ	1
30	ベッドフレーム	1
31	ボルト　M10×25	8
32	ナット　M10	8
33	ワッシャー　M10	12
34	サポートバー	4



■組み立て上の注意

⚠ **2 人以上で組み立ててください**

※　保護具（安全メガネ/軍手/安全靴等）を装着してください

➢ 圧力メーターについて

※　圧力オイルが入った状態でお届け致します。

※　圧力メーター内にオイルが入っている状態が正常です。
（右画像参照）

■組み立て手順

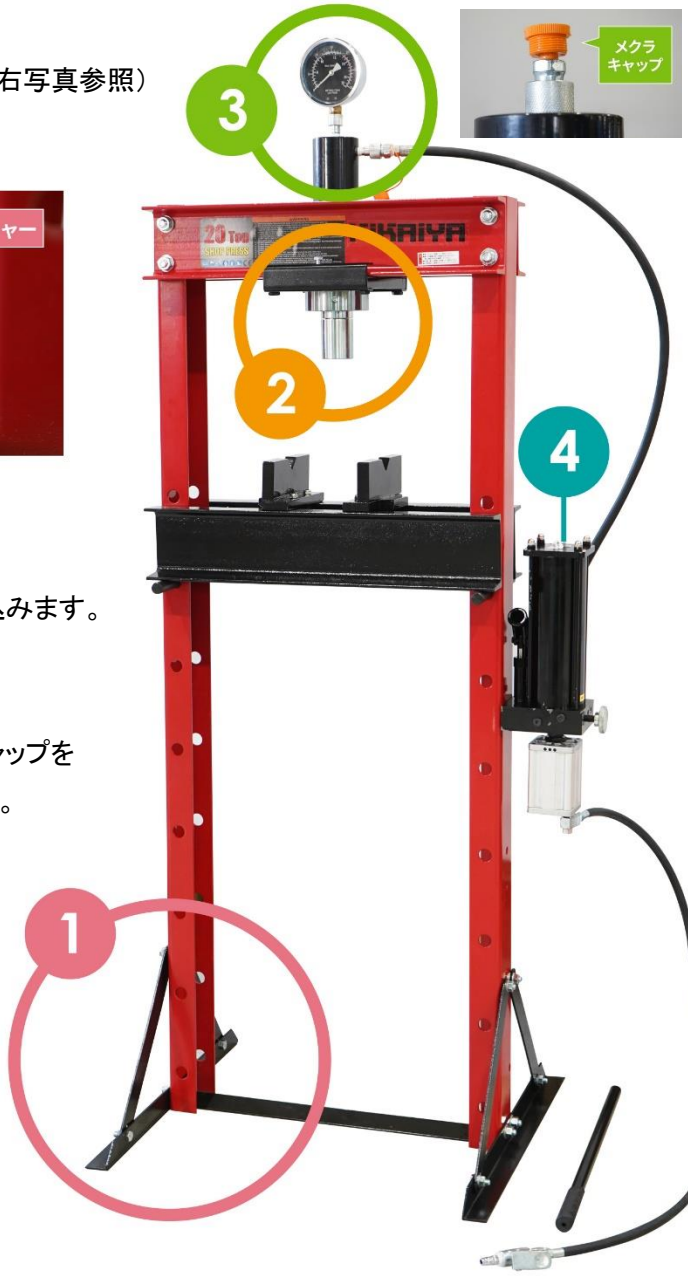
1. 本体を箱から取り出し、
安定する様に脚部を組み立ててください。（右写真参照）
※組立時にはよく注意して作業してください

※M17 スパナをご使用ください

2. 上部クロスビームを取り付け、ラムをはめ込みます。
※M22、M14 スパナをご使用ください

3. ポンプをポストに取り付け、ラムにメクラキャップを
外した油圧ホース、メーターを取り付けます。
※M19 スパナをご使用ください

4. オイルタンク上面の通気口（オイル注入口）
のねじを 2 回転ほど緩めて完成。



■使用上の注意

【ご使用前に】

油圧ホース・油圧メーターのチャックネジが確実に締まっている事を確認してください。

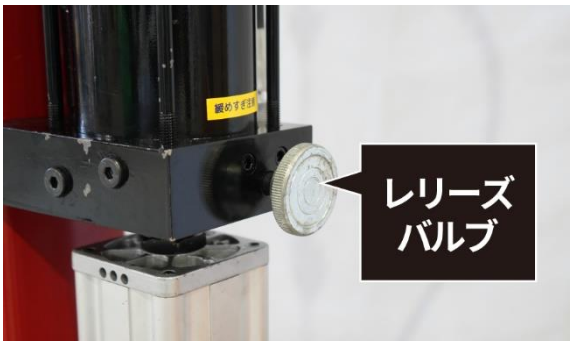
- 初期的にポンプがエアー噛みをしてオイルを送らない事があります。

※ ご使用前にエアー抜き作業を行ってください！！

エアー抜き方法

1.レリーズバルブを緩めた状態でエアーポンプを数秒動かします。
2.通常どおりレリーズバルブを締めてポンプを動かします。

上記を2～3回繰り返すとエアーが抜け、シリンダーが動きます。



締める：右（時計回り）

緩める：左（反時計回り）

- 油圧シリンダーのストローク部分には限界線（赤線）が引いてあります。
  限界線を超えた状態で圧力を上げないでください！！

※ シリンダー内部のストッパーが変形してロッドが戻らなくなる恐れがあります。

- オイルタンク上面の通気口（オイル注入口）のねじが緩んでいるか確認してください

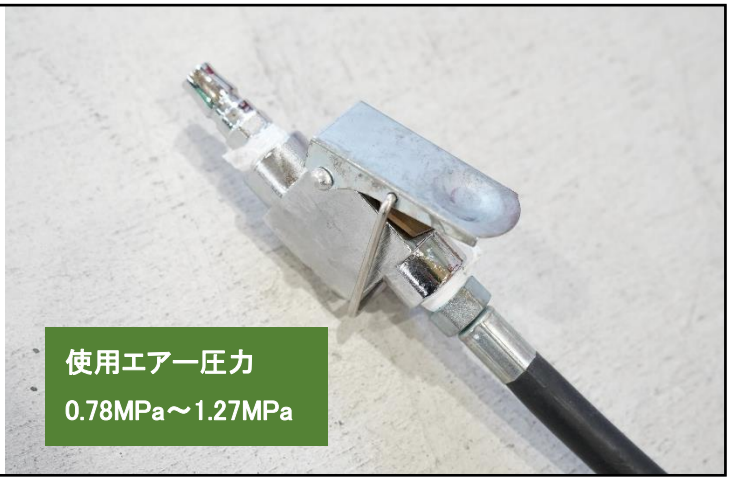
- エアーポンプ駆動時間約1時間毎にエアー接続口より作動油を2cc程注入してください。エアーポンプ内部にオイルが入り、動きが良くなります。

■使用方法

⚠ 使用時は保護具（安全メガネ/軍手/安全靴等）を装着してください

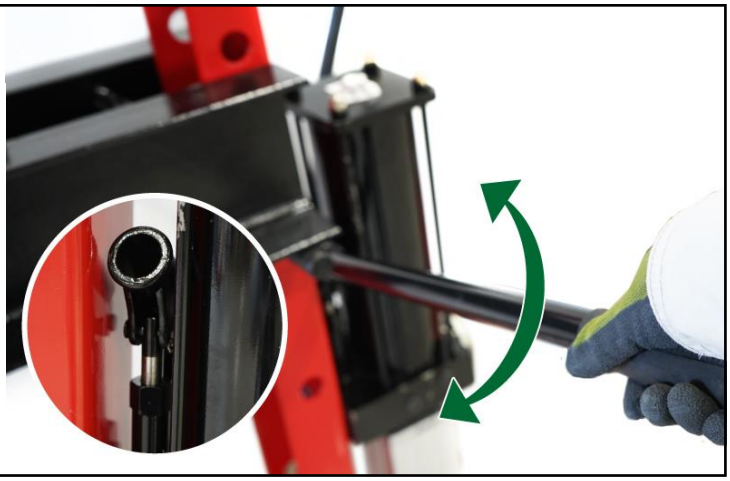
エアーの場合

レリーズバルブを右
（時計回り）に回して締め、
バルブ先の 1/4 カプラに
エアーホースをつなぎ、
バルブを握ると
シリンダーが動きます。
※エアーコンプレッサーが必要です



手動の場合

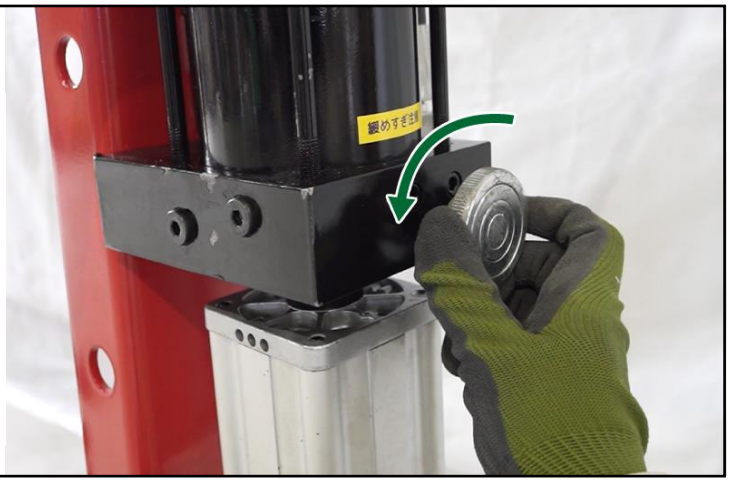
レリーズバルブを右
（時計回り）に回して締め、
ハンドル差込口に
ハンドルを差し込んで
上下にポンピングします。



シリンダーを戻す場合

レリーズバルブを左
（反時計回り）に半回転して
ゆっくり緩めます。

※緩めすぎないでください
（スチールボールが飛び出る
可能性があります）



■メンテナンス・保管について

使用前、使用後には必ずエアー接続口に 2～3 滴注油してください

●エアー接続口（1/4 カプラ）に、レバーを押しながらオイルを加えます。

●最低1か月間に一度、オイルを注油してください。

【 注意 】※注油をしないと、能力低下や故障の原因になるばかりでなくポンプ内が錆びて回らなくなります。

通気口（オイル注入口）のねじが緩んでいるか確認してください

●出荷時はねじを締めた状態です。ねじが緩んでいないとシリンダーが戻りづらく、故障の原因になります。

●シリンダーが上がりにくい場合は、通気口を少し緩めてみてください。

作動油の給油時はシリンダーを戻した状態で行ってください

●作動油不足の時はシリンダーを一番上まで戻した状態でオイル注入口を外し、作動油を給油してください。

※作動油は 30 番（VG32）を推奨。（寒い時期は 20 番（VG22）推奨）

※オイルを入れすぎると漏れ出る可能性がありますので、少しずつ給油してください。

※オイル給油量については、ポンプの8分目までになります。

（空気の層が必要になりますので満タンにはしないでください）

お子様の手の届かない場所で使用・保管してください

注意

配送状況により、お届け時に油漏れが発生している場合がございます。

恐れ入りますがそのまま一度ご使用いただき、操作確認をお願いいたします。